

美濃桃山陶の聖地

第二回「随縁に集う」

1 ゲストによる講演

10/13(木) 午前 榎本徹

～大織部展の立役者が語る～
「織部と利休」

学芸員、神奈川県横須賀市出身。
山口県立美術館副館長、岐阜県現代陶芸美術館館長を歴任。
2012年「岐阜県ゆかりの人間国宝」、2014年「古田織部四〇〇年忌大織部展」を開催するなど美濃桃山陶への造詣が深い。大織部展開催にあたり、国宝志野茶碗 銘卯花塙の400年ぶりの里帰りを実現。2016年4月から岐阜県現代陶芸美術館顧問と、荒川豊蔵資料館特別顧問を兼任。



10/13(木) 午後

特別対談 加藤孝造×榎本徹

～人間国宝が語る～

「美濃桃山陶の魅力」

陶芸家、瑞浪市出身。
1954年に第10回日展（洋画）でこの年の全国最年少者入選を果たすも、この年から陶芸の道へ進む。2010年瀬戸黒の技法で国指定重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定。可児市名誉市民。



10/14(金) 午前・午後 橋本麻里

～日本一多忙な美術ライター～

「美濃のやきもの 伝統と未来」

日本美術を主な領域とするライター。
明治学院大学非常勤講師。今春より公益財団法人永青文庫の副館長を務める。新聞、雑誌などへの寄稿の他、テレビの美術番組を中心に、日本美術を楽しく分かりやすく解説。著書に『美術でたどる日本の歴史』全3巻（汐文社）、『SHUNGART』（小学館）、『京都で日本美術をみる [京都国立博物館]』（集英社クリエイティブ）ほか多数。



各回定員20人

参加者募集

参加費

10,000円

美濃桃山陶の聖地・可児市は、最も日本的なやきものである国宝の志野茶碗 銘卯花塙を生み出したまちです。また人間国宝荒川豊蔵（志野瀬戸黒）が志野復興を遂げたまちでもあります。
そうした美濃桃山陶の聖地をPRするため、昨年度に引き続きゲストを招いた講演や呈茶、荒川豊蔵資料館の見学など盛りだくさんのイベントを開催します。ぜひたくなひとときを味わいませんか。

イベント概要

日時

第1回 10月13日(木)

午前9時30分～午後0時30分

第2回 10月13日(木)

午後2時～5時

第3回 10月14日(金)

午前9時30分～午後0時30分

第4回 10月14日(金)

午後2時～5時

場所 花フエスタ記念公園内茶室ほか

参加費 1万円

定員 各回20人(抽選)

申込方法 希望する回、参加者氏名

(3人まで)、代表者の住所、電話

番号を明記し、窓口または各回に

つき1枚のがきで申し込む